

元気いっぱい!!



日本赤十字社医療センター附属乳児院
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center

〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/relation/tabid/385/Default.aspx>

理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、親子関係の構築を支援します。



平穏な日々を願って



看護副部長 臼井 孝子

春風の心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

日本で初めて新型コロナウイルス感染者が報告されてから、早いもので1年が経過しました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の年であり「with コロナ」「新しい生活様式」という言葉が表している通り、私たちの日常生活は大きく変わりました。今までの生活が制限されてしまうことや、いつ終わるか分からないことに、苦しさや辛さを感じることもあったと思います。そして、ご家族の方々、関係機関の方々には、感染拡大防止のため、様々な点でご協力いただき、乳児院の子どもたちを守っていただきました。子どもたちの日々の生活も、今まで自然に行ってきたことが、感染から守るために、活動範囲を縮小し、四季折々の行事も部屋ごとに開催してきました。そんな中で、厨房の職員が作る行事食に、子どもたちは、目をキラキラさせて、ワクワクしながら「おいしい」と頬張っています。この1年、職員が常にマスクをつけて養育を行っています。子どもたちは、職員のマスクの顔をどう見えているのかと思いながら、子どもたちがいっぱい笑って、泣いてまた笑っている姿にほっとします。

また、2011年3月11日の東日本大震災から10年経ちました。自然災害はいつ起こるかわかりません。この日を機会に多くの方が防災に対して整備し、人との繋がりを意識したのではないのでしょうか。

子どもたちはこれから多くの人に出会い、たくさんの喜怒哀楽を感じながら、成長していきます。ここでの生活が子どもたちにとって、大切な1日になるように願う日々です。

新型コロナウイルス感染の状況はまだわかりませんが、感染対策を継続していきます。皆様には、感染拡大防止のため、ご協力をいただくこととなります。よろしくお願いいたします。



大根収穫祭



保育士 山口



散歩の度に成長を見守ってきた畑の大根が1月中旬に収穫時期を迎えました。興味津々に大根を触りに行く子や、初めての体験に少し泣いてしまう子もいましたが、土と触れ合う機会が少ない子どもたちにとっては良い経験になったと思います。収穫した大根は煮物にして夕飯で美味しく食べました。子どもたちの喜ぶ姿を見ると、次はどんな作物を育てようかとこちらも嬉しくなります。



豆まき(乳児部)



助産師 一松



子どもたちと一緒に手を黒くしながら、新聞紙でたくさん豆を作り、節分の準備をしました。2月2日節分当日、ベランダの窓からこっそり覗いている赤鬼青鬼にめがけて「鬼は外！福は内！」といっせいに豆を投げました。子どもたちは大活躍!! 鬼は逃げて行きました。鬼退治成功。

まだまだコロナは続きそうですが、今年1年病気せずに元気で遊べますように。



豆まき(幼児部)



保育士 平井

今年の節分は、2月3日ではなく、2月2日！なんと124年に1度の特別な節分になりました。子どもたちは、鬼のパンツや豆まきの歌を歌ったり、鬼のお面を工作したりして、節分気分を保育者と一緒に盛り上げて、節分の豆まき当日を迎えました。

当日は、子どもたちのお部屋のベランダに赤鬼と青鬼がお邪魔するスタイルで、豆まきを体験しました。鬼に驚き、目を大きくしてじっと見つめる子、興味を持って笑顔で近寄る子、驚いた表情を見せながらも懸命に豆を投げる子と、子どもたちそれぞれの反応があり、とてもほほ笑ましかったです。



ひな祭り

保育士 藤村

お部屋ごとにひな人形と写真を撮りました。大きなひな壇に圧倒され、驚いている子、興味津々で触ろうとする子など、様々な反応を見せてくれました。女の子たちは可愛い着物を着て、桃の節句をお祝いし、おやつにはみんなでひな祭りのケーキを食べました。



ひな祭りの
ケーキ



《新企画》

今月号より、スタッフによる「子どもたちの楽しい話、ほっこりしたエピソード」などを紹介していきます！！

第1弾

・パンダ室

夏のある日、夜ご飯が終わり夕涼みにお散歩へ行きました。

薄暗くなった夜の世界は、子どもたちにとってはとても新鮮だったようで、光るお月様、テニスコート脇の電灯。そして何よりも、赤緑黄色に光る信号機に大興奮でした。そんなこともあり、信号機が大好きになったSくん。毎日「しんごう行く！」とお散歩に出かけては「緑はすすめ！赤はとまれ！黄色は注意！」と覚えた頃、その日もまたお散歩で信号のところへ。前から自転車に乗ったおばさんがとても急いでいるようで、赤信号なのにSくんたちの方に向かってわたってきてしまいました。するとすかさずSくんが「赤はとまれ！だよ」、続いてAちゃんも「あぶないよ、赤はとまるんだよ。」

子どもたちがあまりに真剣に言ったので、おばさんは自転車を降りて「ごめんね、おばちゃん間違っちゃったね。だめだよ。ごめんなさいね。」と。おばさんが謝ってくれたのでAちゃんは「いいよ。だいじょうぶだよ。」と言いながら、みんなでおばさんに、「ばいばーい！」と手を振りました。

その後もしばらく信号機の所に言っては「おばちゃん、まちがえちゃったんだよ。」の話と、信号を渡ってくる人がちゃんと信号を守るかどうか、見守り隊をしていたぱんだ室のお友達でした。

編集後記

新年度、新たな目標に向かって頑張っていきましょう！

今年度も宜しくお願いします。

